

社会福祉  
法人 豊中市社会福祉協議会

# ボランティアセンターだより

第68号 2018年(平成30年)10月31日  
発行 社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会  
ボランティアセンターだより編集委員会  
〒560-0023 豊中市岡上の町2-1-15  
TEL(6848)1000 FAX(6848)1005  
URL: <http://www.toyonaka-shakyo-vc.org/>  
E-mail: [tcpvc@gold.ocn.ne.jp](mailto:tcpvc@gold.ocn.ne.jp)

ボランティアグループ  
あれこれ

青少年ボランティアグループ

## 「つぼみ」編

市社協登録ボランティアグループ「つぼみ」は青少年ボランティアグループとして、1995年(平成7年)に結成し、大学生・社会人・子ども連れなど幅広い年齢層で、主に土・日・祝日に活動しています。

活動内容は、個別依頼による高齢者、障害児・者の外出介助、施設行事のお手伝いや、豊中まつりなどのお手伝いにも参加しています。最近では大阪北部地震による災害支援ボランティアなどにも協力し、多岐にわたる分野にて活動に取り組んでいるグループです。

月1回定例会を開催しており、ボランティアに関する情報共有をおこなったり、メンバー間のコミュニケーションの場ともなっています。

メンバーそれぞれが、自分にできることを無理なく、長く続けていけるよう、楽しみながら、今後も青少年ボランティア活動の促進と社会貢献のために、様々なボランティア活動に寄与していきたいと思います。



ボランティアフェスティバルにて  
バルーンアート体験コーナーの協力



◎活動に興味のある方はお問い合わせください。

☆お問い合わせ

豊中市社会福祉協議会 ボランティアセンター「ぷらっと」  
豊中市岡上の町2-1-15(豊中市すこやかプラザ2階)

☎ 06-6848-1000

☆定例会

日時：第2木曜日 19時00分～



# 災害支援ボランティアセンター

## ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 大阪府北部地震 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

2018年(平成30年)6月18日(月)午前7時58分、大阪府北部を震源とする地震が発生し、豊中市においても震度5強を観測し、多くの被害をもたらしました。

豊中市社協では、災害対策本部を立ち上げ、校区福祉委員会等と連携し、被害状況の把握・安否確認に努めました。

ボランティアセンターでは、6月20日(水)から7月8日(日)まで災害支援ボランティアセンターを設置し、高齢者・障害者・子育て世代等、自力で家財整理ができない方を対象にボランティアによる支援を実施しました。活動には、ボランティア団体連絡会のボランティアグループ、豊中めぐり、安心サポーター、老人クラブや市民の方など様々な活動に携わっている皆様にご協力していただきました。また、全国各地よりボランティア活動への応援の寄付もいただきました。皆様、ご協力ありがとうございました。

### 活動の様子



ぱらっとに災害支援ボランティアセンターを設置しました。



地震で倒れた物の片づけ



照明器具のカバーの交換



地震により破損した家具の搬出

ボランティアニーズ対応(6/20)

内容	依頼人数	備考	対応状況
ブルーシート			
ブルーシート			
食器棚処分	男性2名		完了
ブルーシート			
ゴミの処分			
食器棚処分	男性2名		完了
ブルーシート			
ブルーシート			
ゴミの処分	男性2名		完了
食器棚処分			
ブルーシート			

ホワイトボードにニーズを書きだしました。

### 《大阪府北部地震の最終累計》

- 相談件数：318件
- 受付人数：308人
- ボランティア派遣件数：218件
- 延べボランティア派遣件数：692人

# ボランティアにご協力いただいた方のご感想

●今回の災害ボランティアに参加して、いい勉強をさせてもらったと思っています。活動内容は、家具の移動や搬出などでした。「災害ボランティア」は困っている人を助けることだと思います。これは、私がやりたかったことです。自分自身も後期高齢者になりましたが、「まだできるんだ。人の役に立てるんだ。」と自分の自信に繋がっています。これからも自分の健康管理に気をつけながら、ボランティアを続けていきたいと思っています。(安心サポーターT.H)

●私が感じていたボランティアの印象は、大きな行事で私とは勝手に縁が無いと感じていました。またボランティアと言っても何をしたら良いのか、何をやるのかわからない為、参加するまでの行動に繋がりませんでした。そんな私が初めてボランティアに参加したきっかけは、大阪府北部地震の震災支援ボランティアでした。自身の家の中や町の状況から大変な事が起こっていると感じ、後先考えず何とかしなくてはという思いからネットで調べ、豊中市社会福祉協議会の窓口を知り、電話しました。参加初日、社協事務所で椅子に座って出番を待っている間、何をどうして良いのかわからず、場違いの所に来たかな?と少し感じていましたが、ボランティアを希望されている方の所へ行き、食器棚の移動や突っ張り棒の設置等を行わせて頂きました。実際に活動する事により、困っている人がたくさんいる事を知り、人からの感謝の声を頂き、その日のうちに世の中に貢献しているという実感を持ちました。それからは時間の都合が付く際には、社協へ出向いてボランティアに参加するようになりました。自分のできる範囲は小さいですが、これからも出来る限りボランティアへ参加して、社会貢献したいと思っています。(K.T)

## ◆◆◆◆◆◆◆◆ 台風21号災害 ◆◆◆◆◆◆◆◆

2018年(平成30年)9月4日(火)に上陸した台風21号により、西日本の広範囲に被害が及びました。ボランティアセンターでは、9月7日(金)から9月10日(月)まで災害ボランティアセンターを設置し、大阪府北部地震と同様に、自力で家財整理など(停電による冷蔵庫の片付け、暴風雨による飛来物の片付けなど)ができない方を対象にボランティアによる支援を実施しました。相談件数は167件、延べボランティア受付人数は154人、ボランティア派遣件数は92件、延べボランティア派遣人数は283人です。(9月30日現在)大阪府北部地震と同様にボランティア団体連絡会のボランティアグループ、豊中めぐり、安心サポーター、老人クラブなど様々な活動に携わっている皆様にご協力していただきました。

また、豊中市停電地域の住民を対象にボランティアセンター「ぷらっと」や各地域福祉活動支援センターにて携帯電話・スマートフォンの無料充電サービスの提供を行いました。皆様、ご協力ありがとうございました。



# 平成30年度 豊中市ボランティアバス ～被災地の今を知る～



平成30年8月16日(木)～19日(日)の4日間、豊中市の委託事業としてボランティアバスを運行いたしました。

行先は、岩手県大槌町、陸前高田市です。それぞれの街の様子を見学しながら、大槌町では大槌高校との交流など、陸前高田市では民泊体験などを行いました。

参加高校生は25名（箕面自由学園高校9名、大商学園高校9名、桜塚高校6名、桜塚高校定時制1名）と各高校の先生に引率いただきました。

大槌町



大槌町長 平野町長による講話



大槌町社協職員による  
災害ボランティア学習



大槌高校との交流会

陸前高田市



奇跡の一本松



陸前高田市 戸羽市長による講話



民泊のお別れ会

～ 感想 ～

- ・以前から震災の恐ろしさや怖さはテレビなどで知っていましたが、実際にその現場に行くと、やはり色々見え方も変わってきました。特に津波がどこまで届いたとか、どのくらいの高さまで到達してきたかを具体的に知ることが出来て、地震だけでなく災害そのものに対する考え方が大きく変化しました。
- ・今回参加して、沢山の事を学び、沢山の方と繋がり、本当に良い経験ができました。



旧大槌町役場を見学

## 夏のボランティア体験プログラム

例年行われているボランティア体験プログラムですが、今年は災害に見舞われ大変な夏になりましたが、7月1日～9月30日の期間、無事実施することができました。小学生から社会人の方、中にはご家族で参加して下さった方もいて、延べ75名の方にご協力いただきました。参加された方の感想に、「将来幼稚園、保育園の先生になりたいと思っていたが、子どもたちとのふれあいの中で先生の仕事の大変さ、だけどそれをふきとばす子どもたちのかわいさを実感することができた。」(高校生)「福祉の現場に初めて入りやりがいを感じる事ができた。」(社会人)などがあり、福祉体験の良い機会になったのではないのでしょうか。



お食事の準備



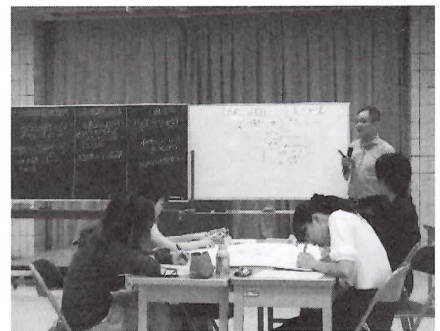
利用者の方とのコミュニケーション  
クイズをしています。



## ボランティア受入れ施設研修会

今年は8月24日(金)に福社会館でボランティア受入れ施設研修会を行いました。大阪北部地震のため、延期となつてからの開催でしたが、10施設の方にご参加いただきました。講師に大阪教育大学の新崎先生をお招きし、ボランティア受入れについての講演や、受入れについてのメリット・デメリットを話し合うグループディスカッションを行いました。「マニュアルを作ることは、職員間でもボランティアさんの受入れについての意識を共有できるので大切だと感じた。」「ボランティアさん側の気持ちを考える良い機会になった。」など、有意義な意見交換の場になったと感じられる感想が数多く寄せられました。

### 研修会の様子



新崎先生の講話では、積極的に参加者から質問が出ました。

# ボランティアはじめの一步講座

これからボランティアを始めようと考えている方、始めて間もない方向けに開催しました。

<内容>

- ①講話
- ②当事者の話、体験学習
- ③ボランティア体験談
- ④ボランティア報告会・交流会



アイマスク体験

1日目は大阪府北部地震により中止となりましたが、残り3日間は、皆様積極的に参加されていました。



ちょボラサロンとの交流会

◎感想◎

・自発性、無償性、社会性はボランティアをする上でとても大切なことだと思うが、普段の生活をしていくうえでも、当たり前でできたら幸せだと思う。

# 小さな手 社会見学

平成30年5月17日(木)神戸市にある「人と防災未来センター」へ小さな手の仲間12名で行って来ました。

阪神大震災時の映像と写真等を展示、東日本大震災時のリアル映像などを見学して、あらためて当時の事をいろいろと思い出して、体がふるえる思いでした。

東日本大震災の見学場所では、ひまわりの種をいただきました。何処でも強く育つとのことだったので、ベランダに植えてみましたが、台風でダメになってしまいました。

いろいろな人達に見学していただいて、災害時に自分達がどうすればいいか、どう動けばいいか考えてほしいと強く思いました。

(小さな手 K.H)



# ボランティアはじめま専科 ~豊中地区更生保護女性会~

平成30年8月28日(火)ボランティアセンターぷらっとにおいて更生保護女性会の活動紹介を行いました。初めにDVD(日本連盟更生保護女性会作成)で更生保護女性会について、全国で行われている活動の説明を見て頂き、続いて私達豊中地区の活動内容を見て頂きました。8月の市の広報を見て来て下さった2名と口コミで来て下さった2名と私たち会員9名で質問に答える形で話し合い、馴染みにくい更生保護について



特別なことではなく女性の持つ優しさや細やかさ慈愛の心で更生保護施設での食事作りや、4か月健診、就学時健診、かるがも食堂など私たち自身が癒され元気をもらっていると実感出来る活動であること、「出来る人が、出来る事を、出来る時に、仲良く楽しく」をモットーに活動していると伝えることが出来た貴重な時間となりました。

豊中地区更生保護女性会 K.K

# ボランティアカフェ



ボランティアカフェ、通称ボラカフェがはじまって、今年で9年目を迎えました。ボランティアセンターぷらっとにて、利用の活性化を目指し、ボランティアによるカフェコーナーとして始まったボラカフェ。現在、ボラカフェのボランティアとして市社協登録ボランティアグループの「ステッキ」、「さわやか」「小さな手」「みちしるべ」の皆様にご協力いただいています。

今回、その中でみちしるべとステッキにボラカフェに対する思いをお聞きしました。

## ～みちしるべとボラカフェ～

私たち「みちしるべ」は、ボランティアセンターぷらっとで、毎月第4金曜日に例会を持ち、社協ボランティアセンターからの各種依頼に対する活動協力等話し合っていますが、その会議が終わった後は解散という流れでした。毎月一回メンバー全員が顔を合わせるという機会をもう少し活用したいということで、平成22年からぷらっとでのボランティアカフェへ参加することになりました。カフェは主に女性メンバーが主体となり、コーヒーやお菓子等の買い出し、コーヒーメーカーでのおいしいコーヒーの淹れ方など、試行錯誤を続けながら、コーヒー愛好者のお気に召すようなおいしいコーヒーを出せるよう今も努力を続けています。ただ主な顧客様は社協事務局の職員が多く、私たちとしてはもっと一般の顧客様にも足を運んで頂き、ぷらっとでゆっくりと寛ぎながら、いろいろな人達のコミュニケーションの場にできたらと思っています。

(みちしるべ M.H)

## ～ステッキとボランティアカフェ～

月に数回2階廊下は香ばしい匂いでいっぱいです。ボランティアルームぷらっとで「ボラカフェ」の開かれる日です。豆から挽いて丁寧にドリップしたコ



ーヒーにちょっとしたかわいいお菓子がついて100円です。訪れたボランティアさん、たまたま通りかかったママ、社協の職員皆様に喜んでいただいています。時には会議に出前することもあります。ちょっとした安らぎの場になれば、他のグループと触れ合える場になればとの思いで開かれています。近くの高齢者施設の方も楽しみに来てくださいます。来られた方から折り紙など教えていただいたりして、盛り上がったたりすることもあります。一杯のコーヒーが和やかなひと時を、そしてほんの少し元気をあなたにと、願って。(ステッキ K.S)



コーヒーメーカーも  
新しくなりました♪



日時：第1月曜  
第2火曜・木曜  
第4金曜

13:30～15:30

場所：ボランティアセンター  
ぷらっと

★1杯100円(お菓子付き)

一度のそいてみませんか?  
お気軽にお越しください♪



### <今後の予定>

●年賀状ボランティア

- 日時：11月 9日(金)
- 12日(月)
- 16日(金)
- 19日(月)
- 22日(木)
- 26日(月)

10:00~16:00

場所：豊中市すこやかプラザ2階

●市社協登録ボランティア「新年の集い」

日時：1月28日(月)

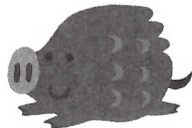
場所：福祉会館

●第26回豊中ボランティアフェスティバル

※福祉大会と同時開催

3月27日(水) 10:00~16:00(予定)

場所：豊中市立文化芸術センター



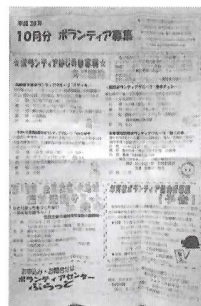
### <登録ボランティアのご案内>

ボランティアセンターに登録しませんか？  
ボランティア登録を受付しています。

ボランティアセンターでは、ボランティア登録をしていただくと、毎月月初めに『ボランティア募集』をお送りさせていただいています。『ボランティア募集』では、豊中市社協のイベントや、現在募集しているボランティアの情報をお伝えし、希望に沿ったコーディネートをいたします。

登録は、ボランティアセンターの窓口で「ボランティア登録をしたいです」とお伝えしていただき、説明を受けて登録用紙に必要な事項を記入するだけで簡単にできます。

一緒にボランティアをはじめませんか。  
皆様の登録を心よりお待ちしております。



#### <東日本大震災支援金>

東日本大震災被災地への支援活動のひとつとして、被災地支援金を受付しておりました。

金額⇒3,200円 (平成30年4月1日~平成30年9月30日現在)

#### <平成30年7月豪雨災害義援金>

平成30年7月に発生した豪雨災害において、義援金を受付しております。

金額⇒7,411円 (平成30年7月20日~平成30年9月30日現在)

### 編集後記

今年の夏は経験した事のない暑さに加え、地震や台風に見舞われた夏もようやく過ぎて、朝夕の涼しさが秋を運び、夕焼けが雲の隙間より美しい色合いを見せ、心を慰めてくれます。今年は豊中で市町村ボランティア連絡会が開催されます。多くの方々とお逢い出来るのを楽しみにしています。

(聴くの会 H.U)

#### ボランティアメール配信中!

QRコードを読み取っていただき、画面の指示に従って、ご登録ください。ボランティアに関する情報を配信しております。

URL <https://service.sugumail.com/toyonaka-city/>

※上記URLからもご登録いただけます。

※登録申込は無料ですが、登録・メール受信にかかる通信料はご負担ください。

